



障害分野NGO連絡会 (JANNET) 1993年から現在まで

障害分野NGO連絡会
2015年3月

設立の経緯

国連・障害者の十年（1983-1992）最終年国民会議（1992）の分科会「国際協力」に20団体が参加し活動報告を行った結果、共通課題が明らかになった。

それは情報・資金・人材の不足である。

恒常的なネットワークの必要から、1年間の準備期間を経て、1993年12月に障害分野NGO連絡会を設立。

もともとの呼びかけ人は松井亮輔現会長【当時：日本障害者雇用促進協会（現・高齢・障害・求職者雇用支援機構）審議役（国際担当）】と池住義憲さん【当時：アジア保健研修所 事務局長】

概要

キーワードは、障害・国際活動・民間

目的：

- アジア太平洋地域を中心に障害分野の民間の国際協力・交流を推進するための関係団体の情報交換および協力・連携の強化、推進等をはかること。
- 海外の関係国際団体等との情報交換および経験交流の推進を図ること。

会員：

団体	34
個人	46

会員団体の特徴（複数該当）

- ▶ 障害関係団体（障害当事者団体、支援団体、専門職団体）
- ▶ 国際保健から障害に関わる団体
- ▶ 国際協力全般から障害への関心を持つ団体
- ▶ 難民支援、災害緊急支援に障害事業も含める団体

- ▶ 国際研修（JICA委託、ダスキン委託、独自事業）の実施機関
- ▶ 障害プロジェクトの実施団体
- ▶ 国際障害団体との交流
- ▶ 情報収集・提供

活動

1. 情報提供：メールマガジン（毎月）、ニュースレター（海外カウンターパート向けに年一回、英語でCDで発行）、会員名簿（日英）、「10年の歩み」「JANNET20年の歩み」、『CBRガイドライン概要版& CBRマトリックス使用マニュアル』作成、その他研究会報告書
2. 研究会・研修会（次ページをご覧ください。）
3. 他団体との関わり
 - ☆JANIC会員として、外務省との意見交換、企業とNGOの連携、国連防災世界会議に関するNGOネットワークに参加。
 - ☆Beyond MDGs Japanに参加（ポスト2015の持続可能な開発目標に関する日本の官・民・関係学界などのゆるやかなネットワーク）。
 - ☆世界銀行東京・日本財団と共に、世界銀行コーヒアワー「障害と開発」シリーズの企画・開催協力。全39回開催。（2006-2013）

これまでの主な研究会開催

テーマの変遷：各団体の国際活動紹介、その時々で話題になったこと（ICT, ICF, JICAの取り組み、NPO法人設立など）、コミュニティ開発、CBR・CBID、防災関連

1994-2004 JANNET会員が発表者となり、それぞれのアジアでの活動を紹介し合う相互学習。

2005-2008 個人会員の寄付があり、2005年にバングラデシュからナズムル・バリさんを講師に招聘したことをきっかけにバングラデシュのCBRと開発に関する研究会が続く。
(2005、2006、2007に2回、2008)

2008-2009 『CBR』（マルコム・ヒート著）を会員有志で翻訳し発行(監修田口順子氏)。それを基にCBRと開発の勉強会を7回開催。(報告者は会員)

2011- CBRガイドライン(2010) 発表後は同ガイドラインの翻訳ボランティアに会員も活躍。同ガイドラインの勉強会開催。日本の地域福祉とCBRの接点作り。
(社会福祉法人むそう、NPO法人起業支援ネット、松本大学、一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト)
後に日本国内事例集作成(2014) における会員の貢献につながる。

2013-2014 海外講師によるアジアの実践紹介を再開。

これまでの研究会海外講師

国内講師：多くはJANNET会員が務めてきた。

外部講師：JICA,JANIC等

海外講師：他団体の招聘で来日した主にCBRで国際的に著名な方を招いた。

*はJANNET独自事業

マヤ・トーマス、インド (2003)

パドマニ・メンディス、スリランカ

ディビッド・ワーナー、アメリカ (1998、5周年記念イベント)

マルコム・ピート、ローナ・ジーン、カナダ (2003)

ナズムル・バリ、バングラデシュ、ベンジャミン・ゴバン、フィリピン (2005)

アブディン・カーン、バングラデシュ (2007)

マーガレット・オレク、ウガンダ (2007)

ノーマン・カーン、バングラデシュ、ステファン、インド (2007)

ナワン・タカリニ、インドネシア (2010)

ナズムル・バリ、バングラデシュ (2013)

アルビナ・シャンカー、インド (2013、20周年記念イベント) *

マヤ・トーマス、インド (2014)

これまでの研修会

- ▶ 2008 **Bangladesh**
CDD:開発と障害センターのナズムル・バリさんに企画協力をお願いした。
- ▶ 2009 **福島県泉崎村社会福祉法人こころん**
来日していたチャパル・カスナビスさん（WHO）も参加。
- ▶ 2010 **インド バンガロール**
Mobility India からキーパーソンと訪問先を紹介していただいた。
企画への助言はマヤ・トーマスさん。

今後の課題と展望

◆第三回アジア太平洋CBR会議の開催にCBRアジア太平洋ネットワーク、日本障害者リハビリテーション協会とともに、共催団体として協力。

開催期日：2015年9月1日～3日

会場：東京新宿京王プラザホテル

参加人数：約600名を予定

◆同CBR会議の成果に基づいて、JANNETの会員拡大、ネットワークとしての今後のあり方や計画を検討

会員団体

- ▶ アジア・ディスアビリティ・インスティテート
- ▶ アジアの障害者活動を支援する会 (ADDP)
- ▶ (公財) アジア保健研修所 (AHI)
- ▶ (NPO) FHCYアジア障害者パートナーズ
- ▶ きょうされん
- ▶ (社福) 国際視覚障害者交流・協力ネットワーク (JIBEC)
- ▶ 国際CBR研究会
- ▶ (公財) 笹川記念保健協力財団
- ▶ (NPO) さをりひろば
- ▶ (NPO) シャプラニール=市民による海外協力の会
- ▶ (社福) 全国盲ろう者協会
- ▶ (一財) 全日本ろうあ連盟
- ▶ (社福) 東京ヘレン・ケラー協会
- ▶ (NPO) 難民を助ける会 (AAR JAPAN)

会員団体

- ▶ (社) 日本義肢協会
- ▶ (公社) 日本キリスト教海外医療協力会 (JOCS)
- ▶ (社福) 日本キリスト教奉仕団
- ▶ (一社) 日本作業療法士協会
- ▶ 日本CBRネットワーク
- ▶ (公財) 日本障害者リハビリテーション協会
- ▶ 日本地域共生協議会
- ▶ (社福) 日本点字図書館
- ▶ (公社) 日本発達障害連盟
- ▶ (NPO) 日本ポーターズ協会
- ▶ (社福) 日本盲人会連合
- ▶ (社福) 日本盲人職能開発センター
- ▶ (社福) 日本ライトハウス
- ▶ (公社) 日本理学療法士協会
- ▶ ひまわりの会

会員団体

- ▶ (NPO) ヒーリングファミリー財団
- ▶ ベトナムの子ども達を支援する会
- ▶ 南太平洋医療隊
- ▶ (NPO) ワールド・ビジョン・ジャパン

- ▶ (公財) ダスキン愛の輪基金 【賛助会員】

関連サイト

▶ JANNET

<http://www.normanet.ne.jp/~jannet/>

▶ 日本障害者リハビリテーション協会（事務局）

<http://www.jsrpd.jp/> <http://www.dinf.ne.jp>

▶ APCD（CBRアジア太平洋ネットワーク事務局）

<http://www.apcdfoundation.org/>

▶ WHO

<http://www.who.int/en/>

▶ 国連ESCAP

<http://www.unescap.org/>

▶ JANIC

<http://www.janic.org/>

▶ JICA

<http://www.jica.go.jp/>